

# 福祉ねごう

根郷地区社会福祉協議会  
 佐倉市大篠塚 1587  
 南部地域福祉センター内  
 電話・FAX 483-7288  
 Mail: negou\_syakyou@yahoo.co.jp  
 http://negousyakyou.sakura.ne.jp

根郷地区：人口 25,540 人(-7)、世帯数 11,832(+12) \*( )内は前月比；増減数 令和3年1月末 現在

## 根郷地区社協からのご挨拶

会長 内藤 寛子



思い返しますと、令和2年度は、新型コロナウイルスに始まり、新型コロナに終わった1年でした。

感染防止のために、福祉委員の皆様も各事業部の予定行事を集まって行うことが難しく、歯がゆい思いを感じられていると思います。

令和2年4月7日に緊急事態宣言が発出され、4月9日には佐倉市社会福祉協議会(以下、市社協)より「新型コロナウイルス感染予防に係る行事等の中止」の要請を受けました。

その後5月25日に市社協より「行事等の再開のお願い」が発令されましたが、もちろん人命を守るための制限“付きの(イベントや大人数での会議等の中止)のものでした。

根郷地区社協が拠点としている南部地域福祉センターも感染予防の為、各部屋の使用人数を制限されました。これにより、残念なことに毎年開催されている「根郷福祉まつり」も中止となりました。

そして令和3年1月7日に2回目の緊急事態宣言が発出されました。

事業中止が多かった中、感染予防に気を付けながら再開した事業部もありました。

子育て福祉事業部は、9月～12月まで、先着4組で子育てサロンを開き、手作りおもちゃの作成やエプロンシアターなどを参加した親子さん方に楽しんでいただきました。

高齢者福祉事業部では、民生委員の協力を得て6月と12月、安否確認を兼ねた友愛訪問(ご高齢の一人暮らしの方で民生委員の方に連絡を下さった方)を行いました。

また、支え合いサービス(ちょこっとサービス)では、利用者さんとのソーシャルディスタンスをとりながら、ゴミ出しや買い物代行などを続行させていただきました。

このコロナ禍、何も出来ないだけではなく、何か自分に出来ることを見つけて挑戦してみる — 自粛中だからこそ時間に余裕ができて、出来ることもたくさんあります。

ジョギングを始めた方、「断捨離」をした方、週1で新しいことを見つけて、それを実践していく方もいます。八街の農家さんに大根堀りに行き、必要な方にお届けに行った方もいます。

コロナ禍だからこそできること — 自分の健康に留意しながら、新たな自分を再発見するためにも、可能な限りチャレンジしていくことが大切だと思います。

とにかくにも、少しでも早くコロナ禍が終息し、世の中の安寧が戻ってくることを祈ってやみません。いろいろと大変な1年間でしたが、皆様方の温かいご支援やご協力に、あらためて感謝申し上げます。

### コロナに負けない!

住みよい福祉のまちを あなたとわたしで 作りましょう

# 令和2年度(2020) 活動報告概要 [各事業部 他]

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、二度にわたる「緊急事態宣言」の発出があり、他の諸団体同様に本社協も大変な一年となりました。年度当初予定されていた各事業部の令和2年度(2020)の活動計画は、三密を避けての自粛要請から、イベント行事は言うまでもなく、会議・会合までかなりの制約を受けることになりました。あらためて一日も早い「コロナ禍の終息」を祈るばかりです。

## 地域福祉事業部

- ①「根郷福祉まつり」

中止

- ②「住民福祉懇談会」  
年3回(地区別)

中止

## 児童福祉事業部

- ①フットサル教室 年2回  
(低学年対象)

中止

- ②ねごう地区 教育ミニ集会

中止

- ③クリスマス会

中止

## 高齢者福祉事業部

- ①友愛訪問 年2回

6月&12月 実施

- ②地域交流会 年2回

中止

## 障がい者福祉事業部

- ①根郷中・アイマスク体験

中止

- ②ボランティア市民活動フェスタ 2020

中止

- ③佐倉市手をつなぐ育成会  
新年会・交流会

中止

## 子育て福祉事業部

- ①子育てサロン  
(トトロちゃんクラブ)  
毎月 第3木曜日  
(4月・8月を除く)

[地域の親と子の交流の場]

- ・5月~7月 中止

・9月~12月(先着4組で実施)

- ・1月~3月 中止

## 広報事業部

- ①広報紙「福祉 ねごう」編集  
年3回発行

根郷地区社協の事業活動  
や地域福祉の情報提供

[全世帯と関係機関に配付]

・7/15号 & 3/15号 発行

(12/15号 中止)

## 支えあいサービス事業

(ちょこっとサービス)

\*コロナ禍の中、「感染しない・させない」を合言葉に、検温、マスク着用、作業前後の手指消毒を実施しながら作業に対応してきました。

なお、4月、5月は室内作業を、6月以降は買い物支援を休止しました。

\*本年度12月末までの作業件数は1,006件となりました。

## その他

- ①「根郷地区青少年育成  
住民会議」への参加

・「すくすくまつり」

中止

- ②「ねっこの会」の支援

- ③「麦の会」の支援



住みよい福祉のまちを あなたとわたしで つくりましょう

# 社協の生活福祉資金貸付

千葉県社会福祉協議会(県社協)では、様々な理由で生活が苦しくなっている方々を対象に、生活の立て直しや自立支援のための「生活福祉資金」の貸付を行っています。

最近では新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業により収入が減少した方に対して「緊急小口資金」と「総合支援資金」の特例貸付を行っており、R3年2月12日現在で1,341件の利用があります。

またコロナの影響以外でも、日常生活で経済的に困っている方々に対して様々な分野での資金の貸付があり、佐倉市社協がこうした貸付の窓口となつての相談に対応しています。



## 【 コロナ禍に関係する貸付 】

① 緊急小口資金特例貸付  
貸付限度額 20万円(1世帯)

② 総合支援資金特例貸付  
貸付限度額(月額) 単身世帯 15万円  
複数世帯 20万円

※申請受付期限は、令和3年3月31日までです。

## 【 その他の貸付 】

① 福祉資金  
\* 結婚・出産・葬祭、転居、  
介護・医療・災害援護、  
住宅設備・改修、生業、技能習得など

\* 貸付限度額 50万円～580万円

② 教育支援資金  
＜教育支援費・就学支度費＞

\* 貸付限度額  
教育支援費 月35,000円～65,000円  
就学支度費 50万円

※ 詳しくは、下記までお問い合わせください。

## 【 佐倉市社協の善意銀行 】

佐倉市社協でも市民の皆様からの協力を得て、一時的な小口資金の貸付や生活に必要な日用品や食料の提供も行っています。

どうぞお気軽にご相談ください。

また、お近くに困っている方がおられましたら紹介してあげてください。

## 【 問い合わせ先 】

佐倉市社会福祉協議会  
地域共生推進班 電話 484-6200

## 【 社協の生活支援貸付一覧 】

種類	用途	貸付限度額	利子	返済期間	
コロナ禍に関係する貸付 ※申請受付：3/31まで	緊急小口資金	生活費等	20万円	無利子	2年以内
	総合支援資金	生活費等	単身世帯 月額15万円 複数世帯 月額20万円 いずれも貸付期間は原則3カ月以内	無利子	10年以内
その他貸付	福祉資金	結婚・出産・葬祭、転居、 介護・医療・災害援護、 住宅設備・改修、生業、 技能習得など	50万円～580万円	保証人あり＝無利子 保証人なし＝年1.5%	3年～20年
	教育支援資金	教育・就学支援	教育支援：月35,000円～65,000円 就学支度：50万円～580万円	いずれも無利子	原則10年
佐倉市社協の善意銀行	生活に困窮されている世帯に対して、一時的な小口資金の貸付や生活に必要な日用品や食料の提供				

※今回の記事内容ならびに貸付等の概要については、志津南地区社協様から「広報紙第90号」記事内容の掲載許可を頂き、市社協担当者からのご助言をいただきながら、ご紹介させていただきました。

住みよい福祉のまちを あなたとわたしで つくりましょう

生活必需情報  
特集版

地域防災

「備えあれば憂いなし」

身近で正確な情報入手先 → 佐倉市公式ウェブサイト；▼<http://www.city.sakura.lg.jp/>

はじめに

「天災は忘れた頃にやって来る」…自然災害はその被害を忘れた時に再び起こるものだという戒めとしてよく耳にする諺です。3/11で被災から10年にもなる東日本大震災の余震が、つい先月(2/13)福島・宮城震度6強という形で我々を文字通り震撼させました。

コロナ禍に限らず、身近なところで発症したり、自身に被害が及ばなければ、こうした災いも「対岸の火事」的に捉えてしまうことが人間の性ではないでしょうか。

記憶にも新しい令和元年の台風・豪雨災害であっても、時間とともにいつの間にか脳裏の片隅に置き去りにされてしまっている危機的現実 — 「災害は常に身近なところに?! そろそろかな? 気を付けないと…!!」。

そこで、皆さんもすでにご覧済みの令和2年(2020)9月1日発行、「こうほう佐倉」の「防災特集号《保存版》」より関連記事の一部抜粋引用させていただき、「地域防災力向上を目指して」の特集版(?)を企画してみました。



2019/10 大水害[寺崎城跡から鹿島川大橋方面]

災害とは・・・

某百科事典では「災害とは、その要因が自然的なものであれ人為的なものであれ、人間および人間社会になんらかの破壊力が加わって、人命が失われたり、社会的財産等が失われることによって、それまでに構築されてきた社会的均衡が崩れることをいう」と定義づけられています。

また一般に「人間社会が予想できなかった原因や経過によって、個人または個々の集団が元の生活や生産活動への回復不能、あるいは回復困難な損害を受けること」としています。

根郷地区において心配される自然災害としては地震・台風・洪水・竜巻 — 都市型災害地震では、家屋建物の下敷きによる死傷者が多く、二次的に発生する火災・山崖崩れ・土石流等により人的被害のさらなる拡大も懸念されます。

地域防災力向上を目指して



「自助」は、住まいの点検や生活必需品の備蓄などを行い、自分の身の安全は自分で守ること。  
 「共助」は、自主防災組織や消防団の活動に積極的に参加・協力するなど、地域の皆さんや身近にいる人たちが協力して助け合うこと。  
 「公助」は行政などが防災体制の整備や災害時の救助・支援を行うこと。  
 「自助・共助・公助」の連携が、災害時の被害を減らし、被害の迅速な回復を図る「減災」に不可欠です。  
 防災に欠かせない考え方「自助・共助・公助」です。

「防災特集号《保存版》」より

「防災特集号《保存版》」の冒頭に危機管理室からのメッセージとしてこのような言葉が書かれています。

「自然災害は、人間の力で食い止めることはできませんが、被害は日頃からの備えにより減らすことができます。

いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から家庭や地域、近所の皆さんでの備えが大切です。」

住みよい福祉のまちをあなたとわたしでつくりましょう

### まずは正確な情報収集から・・・



情報入手方法としては下記的手段が一般的に考えられますが、いずれにしても災害に備えて平素から、正確な情報の入手方法を確認し、有事の際は家族や地域の皆さんで情報を共有できるように心がけましょう。

- \* 携帯電話・スマートフォン   \* インターネット・パソコン   \* テレビ・ラジオ
- \* 新聞・広報紙   \* 書籍・雑誌類   \* 掲示板・回覧板   \* 人伝(ひとづて) 等々

#### 令和2年(2020)9月1日発行、「こうほう佐倉」の「防災特集号《保存版》」の掲載項目紹介

\* 日頃から家庭でできる防災対策



\* 風水害に備える

\* 地震発生!あわてないために

\* 避難の際、持ち出す物の準備

\* 在宅避難に備えて備蓄を

\* 災害時の安否確認方法を確認

\* 日頃から行っておくこと

\* 警戒レベルと避難のタイミング



\* 地震に備える   \* 帰宅困難者にならないために

\* 正確な情報を入手する

\* 防災行政無線「ぼうさいさくら」

\* 佐倉市メール配信サービス

\* 佐倉市公式ウェブサイト

\* 「佐倉市防災情報」ツイッター

\* 緊急速報メール(エリアメール)

\* スマートフォンアプリ

\* 災害情報共有システム「Lアラート」

\* 臨時災害 FM 放送

\* 避難場所・避難所

\* 避難場所・避難所と福祉避難所

\* ペットの防災対策について

\* 罹災証明書

\* 補助事業



※ 佐倉市公式ウェブサイト「こうほう佐倉 防災特集号《保存版》」で検索すると詳細の内容を確認できます。

#### 防災行政無線「ぼうさいさくら」



市内の学校や公園などに、防災行政無線スピーカーを設置しています。災害時の避難情報などの防災情報をはじめ、平常時には市からの行政情報(行方不明者、振り込め詐欺などの情報)を放送します。

※音声は、スピーカーの遠近や向きによって聞こえ方が異なります。ご理解ください。



防災行政無線  
テレホンサービス(無料)

防災行政無線で放送した内容が聞き取れなかった場合など、24時間いつでも電話で確認できます。 ☎ 0120 (711) 508

#### 佐倉市メール配信サービス

防災行政無線の放送内容や、新型コロナウイルス感染症関連情報を、メールでお知らせするサービスです。

※登録無料 【登録方法】直接アドレスを入力して、空メールを送信 ✉ sakura@emp. ikkr. jp

※市ホームページで、メール配信内容の履歴がご覧いただけます。



#### 佐倉市公式ウェブサイト   ✉ <http://www.city.sakura.lg.jp/>

災害時には最新情報や避難所情報を発信します。日常的に佐倉市役所からのあらゆる情報の発信元となっています。是非ともアクセスしてみてください。



#### おわりに

「備えあれば憂いなし!」・・・「自助」・「共助」(特にご近所さんとの絆「近助」)・「公助」の相互関係を念頭に、近未来の災害に備えたひとりひとりの心がけ(自覚)と行動があれば、「憂いなし!」です。

住みよい福祉のまちを あなたとわたしで つくりましょう

# 根郷散策

No.4

## 根郷角栄自治会

[ねごうかくえいじちかい]

### 【根郷角栄の誇り — 「近助」の力】



[根郷角栄自治会の活動拠点]  
<「根郷 ふれあい館」>  
(井戸作東公園向い)

「根郷角栄」は、JR 佐倉駅より南に徒歩で約10分、戸数300戸に満たない閑静な住宅街です。

造成から40年以上経過し、空地空家も目立ち始め、さらに高齢化も進んでいますが、自治会を中心に、住民相互の結び付きの強い団地です。

皆様の記憶に新しい— 昨年の台風被害 — 今年は何事もないことを祈るばかりです。

しかしながら、いつ何時災害が発生するかわかりません。

そんな有事に備え、  
常日頃から防災関連の設備機器管理には余念がありません。

年2回の防災訓練 — 防災役員が準備運営にあたりますが、あくまでも主役は住民です。

常に災害を想定しての真剣かつ和気藹々とした実地訓練が行われます。



[訓練内容の説明]

— 昨年は、炊き出し訓練でした。

みんなで 必要な物を用意し、  
かまどに火をおこし、力を合わせて、  
おいしいご飯を作りました。



[かまどでお湯を沸かします]



[熱湯を入れお米を蒸らします]

今年は、コロナ禍の影響で防災訓練を始め、全ての行事が中止になりました。

人と人の距離が問われる状況です。  
思うように活動もできません。

しかし、人と人との結びつきは  
さらに深めていきたいです。

今だからこそ  
常日頃の地道で、かつ継続的な活動が…  
そしてなによりも 隣近所の結びつき(「近助の力」)が必要不可欠であると確信しています。

平穏で変わらぬ日常に早く戻りますことを お祈りいたします。



[美味しくできました]

☆次回「根郷散策」(No.5)は、石川区です。

住みよい福祉のまちを あなたとわたしで つくりましょう

佐倉市根郷地区社会福祉協議会

# ちょこっとサービス

**ちょこっとサービスとは**

日常生活で手助けが必要な高齢者家庭等に対し、雑事・家事を中心にお手伝いする、地域で支えあう支援サービスです。

**利用できる方（利用会員）**

根郷地区社会福祉協議会地域内にお住まいの高齢者（65歳以上）世帯で、日常生活を営むのに支障があるため、支援を必要とする方です。

**買い物支援サービス**

買い物支援サービスは、あなたをご自宅からスーパーマーケットへお連れし、買い物の後ご自宅までお送りするサービスです



【実施日】  
毎月第三 **水・木** 曜日

【利用料金】  
1回 **600円**

※利用を希望される方は実施日の2日前までに連絡をお願いします

こんな場面で手助けが必要な時、お手伝いいたします



※上記サービス以外にも、ご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。

ささえとり

**<ご利用の流れ>**

1. ご利用を希望される方は、まず「ちょこっとサービスセンター」までお電話下さい。
2. 「コーディネーター」が利用者宅を訪問し、内容の確認等をいたします。（「利用会員申込書」「利用申込書」に記入をしていただきます）
3. コーディネーターは内容の確認後、作業をしてくださる「サポーター」に依頼をします。
4. サポーターが利用者のお宅を訪問し、作業を行います。
5. 作業終了後、利用者の方とサポーターで作業内容の確認・料金精算を行います。

**<利用料金>**

会員登録	無料		
ケース1	15分以内の利用	.....	200円
ケース2	30分以内	.....	400円
ケース3	1時間以内	.....	600円
ケース4	1時間を超える場合(30分ごと)	.....	300円追加
買い物支援	一回のご利用につき	.....	600円

**協力会員・賛助会員募集中**

**《協力会員》**

手助けの必要な方の自宅へうかがって、お手伝いをしていただける方です。作業料をお支払いいたします。

(例) 1時間 500円

**《賛助会員》**

ちょこっとサービスの趣旨に賛同し、運営資金の援助として、賛助金の支援をしてくださる方。

(年会費)  
一口 1000円/年

**ご利用お申込み、お問い合わせ先**

**ちょこっとサービスセンター**

〒285-0806 佐倉市大篠塚1587

TEL/FAX **043-312-1808**

受付時間：毎週水・木 10時～12時  
(コーディネーターがいます)

※それ以外の時間帯につきましても、留守番電話・FAXにて承ります。

新型コロナウイルスの感染リスクの拡大が止まらないことから、「買い物支援サービス」を休止しています。ご利用の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。「買い物支援サービス」を再開するときは、あらためて掲示(既利用者には直接連絡)いたしますので、今しばらくお待ちください。

住みよい福祉のまちをあなたとわたしでつくりましょう



令和2年度 秋の褒章受章 [2020/11/3]



受章 <sup>ふるや ひさこ</sup> 古屋 富子さん (城区)

根郷地区社会福祉協議会の一員として、長きに亘り民生委員/児童委員・福祉委員(現広報部員、元広報部長)としてご尽力され、現在「佐倉市明るい選挙推進協議会」副会長も歴任されている古屋富子(ふるや ひさこ)さんが、「選挙関係事務功績」により この度秋の叙勲・褒章(11/3)において、「藍綬褒章」受章の栄誉を与えられました。

根郷地区社協の誉れとして古屋さんとともに大いに喜びを共有したいと思います。

「藍綬褒章」(らんじゅうほうしょう)は、「会社経営、各種団体での活動等を通じて、産業の振興や社会福祉の増進等に優れた業績を挙げた方や、国や地方公共団体から依頼されて行われる公共の事務に尽力した方」に授けられるもので、授与の候補者は各省各庁の長等から内閣総理大臣に推薦され、内閣府賞勲局での審査を経て、閣議において受章者が決定されるということです。



令和2年秋の褒章受賞者(叙勲を除く)は、全国で802名、「藍綬褒章」は全国で471名、内千葉県関係者は18名(内:女性3名)です。

なお褒章のデザインは、「褒章」の二字を桜の花で飾った円形のメダルで、綬(組みひも)の色(紅、緑、黄、紫、藍、紺)により五つの「褒章」に区別されているそうです。 [参照: 内閣府HPより]



受章 おめでとうございます！

**ご報告** 令和2年11月18日 千葉県共同募金会より、根郷地区社協に対して表彰状をいただきました。

令和2年度 佐倉市社会福祉協議会 福祉功労者表彰 [根郷地区]

根郷地区社協HP (ホームページ)

<http://negou-syakyou.sakura.co.jp>

新型コロナ禍の影響で、令和2年度の各福祉事業部の活動の紹介や写真等も思うように更新できないままに年度末を迎えてしまいました。令和3年度こそ、新型コロナ禍の終息とともに、各福祉事業部の活動等の平常化を信じて、ホームページ内容の充実化を目指します。

- ◎ 特別功労賞 (福祉委員 18年以上)  
稲村 多恵子 [春路]
- 会長表彰 (福祉委員 8年以上)  
奥山 裕子 [ときわの杜]  
村本 正志 [大崎台2丁目]  
米森 隆 [白翠園]

<敬称略>

表彰 おめでとうございます

\* 今後、年度末掲載(功労者表彰)をさせていただきます。

編集後記



新型コロナウイルス感染症拡大の脅威で スタートした令和2年度もあと半月足らずで一年を終えようとしています。「新しい生活様式」や「ウイズコロナ」等等、コロナ禍関連の新語も次々に登場しました。只々終息を祈りながらも、この難局から「生きぬく」ことの知恵や国民性が常に問われているような気がします。

掲載記事の収集の困難さから、令和2年度は年2回(7・3月)の発行になってしまいました。お詫び申し上げます。

どんな状況下でも「朝の来ない夜はない」—— ポジティブにできる時にできることを、無理なく今後も心がけて参ります

ご意見やご要望等がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。

(広報事業部員一同)

事務局

佐倉市 大塚塚 1587  
南部地域福祉センター内  
電話・FAX 043-483-7288  
事務局員 田口 和子  
勤務時間 火曜・木曜  
9時～16時

※ 年間3回(7・12・3月発行) 協賛広告(下記仕様)を 掲載してみませんか？！

詳細は 事務局まで

新床・表替・裏返

石田 豊 店

佐倉市城768

Tel 485-4007

小さな思い出と大切に作る店  
金婚式・喜寿・米寿を残しましょう

皆様の写真スタジオ

ショウジ

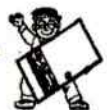
佐倉市表町1-5-19

☎ 043-485-5323

あいはら表具店

襖 新規 表具  
張替

内装 クロス・カーテン工事  
内装一般



佐倉市畔田316-3

三代目 栗飯原正直

☎487-0049 FAX487-0586

住みよい福祉のまちを あなたとわたしで 作りましょう